

第27回

作品募集

杉並区図書館を使った 調べる学習コンクール

募集期間 令和8年9月1日(火)～16日(水)

締切日
必着

募集内容

募集作品

図書館を使って、調べ、まとめた作品。作品のテーマは自由

- ①応募者自身のオリジナルで未発表の作品に限ります。インターネット上に公開した作品、頒布した作品や図書館等に寄贈した作品(自費出版等含む)は、発表したものとみなします。ただし、学校に宿題として提出した作品、学校内で展示した作品は応募できます。
- ②全国コンクールおよび他のコンクールとの二重応募はできません。

応募の際は、必ず図書館ホームページをご確認ください。

サイズ：小学生はB4サイズまで(八つ切り画用紙サイズも可)。中学生以上はA4サイズまで。
ページ数：50ページ以内(表紙、目次、参考・引用文献一覧を除く)。

募集対象

杉並区在住・在学の小学生、中学生、高校生

応募方法

- ①区立小中学校生の方で在学の学校で作品を取りまとめている場合→在学の学校へ提出
- ②個人の方→杉並区立図書館へ応募用紙(図書館ホームページまたは各図書館窓口にあります)を添えて提出

必ず書くことなど

調べるときに利用した資料の情報と図書館名のリストを巻末に付けてください。
本文(図表を含む)にはページ番号を記入してください。
パソコンで作成する場合、文字は11ポイント、1ページ1,000文字以内。

入選作品の展示について

- 入選作品は、表彰式の後に展示いたします。
- 展示等の際、氏名、学校名、学年は、原則公開となりますのでご了承ください。

杉並区でのコンクール後の応募作品の扱いについて

- 応募作品の著作権は応募者に帰属します。
- 上位の作品は、公益財団法人図書館振興財団が主催する全国コンクール(全国審査)に推薦されます。
- 全国コンクール入賞・入選者の氏名(グループ名)・学校名・学年・作品名・都道府県名・地域コンクール名を公表します。
- 応募者は、応募の時点で、図書館振興財団がコンクール事業において作品を無期限・無償で非独占的に利用することを許諾するものとします。
- 図書館振興財団は、作品を利用する際、応募者(作者)と「コンクール応募作品・利用許諾契約書」を交わします。



なみすけ © SUGINAMI CITY



図書館を使った
調べる学習コンクール

主催：杉並区教育委員会 後援：公益財団法人図書館振興財団 審査委員長：杉並区教育委員会教育長

問い合わせ先：杉並区立中央図書館(〒167-0051 杉並区荻窪3-40-23 ☎03-3391-5754)



Q どんな作品を出せばいいの？

A 日頃疑問に思っていること、不思議に思っていることを図書館で調べて、文章にまとめた作品を出そう!!

Q まとめ方のコツってありますか？

- A ① 例えば、
- 1 なぜ、そのテーマで調べたいと思ったか
 - 2 その疑問について、予測を立てて、調べる方法を考えたか
 - 3 実際にどんな方法で調べてみたか
 - 4 調べた結果、何がわかったか
- など、書き出してまとめてみよう!!
- ② そして、できれば目次も作ってみよう!!
- ③ 調べるときに使った本(参考文献といいます)や、そのときに使った図書館の名前を必ず書いてね。

Q 他の人たちは、どんな作品をつくっているの？

A 過去の全国大会の上位入賞作品が、「図書館を使った調べる学習コンクール」のサイト (<https://concours.toshokan.or.jp/work>) に載っているので、参考にしてくださいね。

Q 「参考・引用文献一覧」って何？

- A 本やインターネットの文章や表などを利用したときは、必ず、どこに書いてあったのかを示す必要があります。使った本(本の名前、書いた人、出版社の名前)やインターネットの情報(サイトの名前、アドレス)などは、作品の最後に、まとめて書いてください。
- * 本やインターネットに書いてあることをまる写ししてはいけません。
 - * 図書館や博物館で調べたら、どこで調べたか、どの本を使って調べたか、何がわかったか、調べたこと、などをメモしておく、参考にした本の一覧をつくらうときに役に立ちます!!

Q 調べたけど、本もないし、結果もわからなかった…どうしたらいい？

- A 専門家にもわからない、図書館にも調べる本がない、本があっても難しすぎた…そういうテーマはあります。そうなってしまったら方法は二つです。
- ① そのテーマをやめて、別のテーマをさがす
 - ② いろいろな調べ方をしたけれど、わからなかったこと、そして、どうして、今そのことを調べてもわからなかったのかを考えてまとめることです。(これはけっこう難しいよ!!)
- わからないテーマにあたってもしっかりしないでずっと後まで、そのわからなかったことを覚えていてください。それは、大人になったら自然にわかることかもしれないし、実はだれも知らないことで、将来、誰かが解決してくれることなのかもしれないし、あなた自身が第一発見者になる新事実かもしれませんから!!

